

生花・園芸部会 2016年度1月京都事業報告

2016年度初めての事業となります1月京都事業、新春祝賀会を開催しました。

◆スケジュール

2016年1月22日(金)

13:00 集合 京都駅

13:30~15:00 三木竹材店 視察



◆ご挨拶、竹の説明（写真左）

ご挨拶のあと、竹について説明いただきました。

11月に伐採したばかりで三木さんの横には大量の竹が置かれています。

11月は低い気温で身が締まり、糖が少ない(虫が寄らない)から伐採に適しているそうです。

3か月でオトナに成長し、3~4年で伐採します。

主な竹の種類は3種類。

- ・マダケ(真竹)・・・色がきれい、弾力性があり、節間が長い。道の具(剣道、弓道、書道 etc)に利用。
- ・ハチク(淡竹)・・・細く割りやすいという材質から、茶筌などの茶道用具されている。
- ・モウソウチク(孟宗竹)・・・主に食用。たけのこ。

◆油ぬき（写真右）

ちょうど油ぬきの作業が行われてました。

ガスで熱して炙り、浮いた油を拭くことによって表面をコーティングしています。

表面を焼きすぎず、中の空洞を温めることによって、油を表面に浮かせるそうです。

絶妙な火加減なんですね～。

この後3年寝かして干して、ふるいにかけて良い竹を選別するそうです。



←倉庫には大量の竹が大事に置かれてました。手間にあるのがススタケ（煤竹）です。奥にあるのが寝かせて2年目の竹ですが、すっかり色が抜けきれいなツヤをだしてました。

1年目は屋根のみの屋外

2年目は風通しのある屋内

3年目は屋内

で色むらや割れ虫食いなどに耐えた竹が、商品として世に出ていくそうです。



↑節の長さをあわせるため、同じ年齢の何本もの竹の同じ節の枝をあわせて作ったそうです。見事です。



↑立派なススタケです。年季ものもあるそうです。



↑過酷な3年の月日を経て、見事受賞した竹たちです。



↑ほうきには若いやわらかい竹を使用するそうです。



↑お弟子さんが油ぬきをしてました。あれ？どっかで見たとような。。



↑最後にお茶をいただきました。おもてなしを満喫させていただきました。

最後まで、まだまだ竹にまつわる興味深いお話は尽きませんでした。
三木先輩ありがとうございました！



その後烏丸に移動して、常任委員会、総会が開催され、
相澤部会長、仲田運営専務により、今年度の事業計画が発表されました。
5月に秋田で事業（5月20、21日もしくは27、28日予定）
7月サマコン時に横浜で事業（7月15日予定）
11月に福岡で納会
また、去年に引き続き各地区事業も開催したいと思います。
どうぞよろしくお願いたします。



その後先斗町に場所を移し、新年祝賀会が盛大に開催されました。



祝賀会ではさらに多くの方にご参加いただき、
おかげ様で盛況のうちに新年祝賀会を終えることができました。
ご参加いただいた皆様ありがとうございました！
今年度もよろしくお願い申し上げます。
その後、2次会、3次会と京都の長い夜は続くのでした。。。

◆番外編

翌1月23日(土)

京都会議のプログラムである

株式会社 Asante 代表取締役 萩生田 愛 氏による

「一輪の花が届ける世界の幸せフォーラム」

に参加しました。

ケニアのバラを直接輸入し、

「アフリカの花屋」<http://afrikarose.com/>

を東京の広尾の店舗と、オンラインストアで展開していらっしゃいます。

現地の雇用を創出し人々の自立支援につなげているという支援モデルを作られた経緯や現況を話されていました。



HP にも相澤部会長の質問の様子が掲載されています。

<http://nippon-saiko.jp/archive/detail/18>

公演中はかなり集中して寝てた考え事をしていた部会長。質問タイムでは真っ先に挙手。そして生花園芸部会のPRもきっちりされていました。さすがです！！